
 **3年生 音楽の学しゅう**   
(5月18日から23日)

3年生のみなさん、一週間 元気にすごすことができましたか？  
音楽しゅうは みなさんがいないので、なんと アリさんが さんぽコースにしています。  
「ここは 子どもたちの お部屋です。外に行ってください。」と伝えています。

さて、宿題ではこまったこと、わからないことも あったのではないかと 心ばいしています。  
す。けっしてあせらないで、こまったところは 学校で いっしょに またやりましょうね。

先週は 音の高さに気をつけて 歌ったり、けんぱんハーモニカをひいたり しました。  
かならず 楽ふの音ふ を 目で見ながら 音が上がったり、下がったりすることを 目と耳  
で かんじましょうね。 「茶つみ」のさわやかな歌詞も 楽しめましたか？

今週は 「海風きって」の けんぱんハーモニカ をひきますが、リコーダーの学しゅうの  
じゅんびも 少しずつ 進めていきます。これも あせらなくてだいじょうぶです。

新しいお友だちに であったときのよな気持ちで、 少しずつ なかよしになっていきま  
しょうね。まずは ごあいさつ。そして 自こしょうかい。あだ名もつけてあげようかな？

**保護者の皆様**  
休業中の学習にご協力いただきありがとうございます。  
プリントだけでお伝えしているため、分かりづらいところがあったことと思います。お子さん  
が不安がっている場合は、無理に進めずに、音楽を聴くだけで構いません。学校再開となりま  
したら必ず補ってまいりますので、どうぞご安心ください。  
今週も教科書会社が公開している音源の活用をよろしく願いいたします。聴くことが難し  
い場合は遠慮なくお知らせ下さい。

「教育芸術社自宅学習支援コンテンツ 小学校 令和2年度小学生の音楽3」  
(textbook.kyogei.co.jp)  
\* **教育芸術社**のトップページから**自宅学習支援コンテンツ**を開いて下さい。**小学校**  
(1年生の教科書の絵)を開き、お子さんの学年の教科書をクリックします。

**3回目** 月 日 ( )

めあて **音の高さを感じ取りながらえんそうしよう。**

1、うたを きいたり、歌ったり しましょう。

①「春の小川」(10, 11ページ) を階名で(ドレミで) 歌いましょう。

ドレミ(階名)で うたうことは 音の高さのかんかく を  
つけるのに とてもよいです。これからも いろいろな音楽  
をドレミ(階名)でうたいましょうね。

②「茶つみ」(14, 15ページ)  
15ページの楽ふを見ながら 音楽に合わせて歌いましょう。

.....  
手あそび が 楽しい歌です。  
(17ページは あそび方のれい です。)  
かんせんのきけんがなくなったら、学校でもあそびましょうね。

③みんなで楽しく(72から77ページ)の中から 「にじ」をききましょう。

2、「海風きって」のけんぱんハーモニカから音の高さを感じ取ろう。

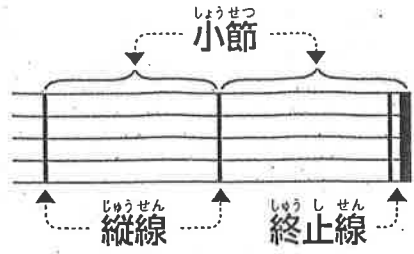
①「海風きって」(12ページ) **イ**(3だん目、4だん目)のけんぱんハーモニカ  
部分をけんぱんハーモニカを使って練習しましょう。

おぼえるくらい ドレミ(階名)でうたうと ひきやすくなり  
ます。  
だんがかわったときに、おやゆびの いちが かわります。  
ひくいⓁ と 高いⓍ があります。気をつけましょう。

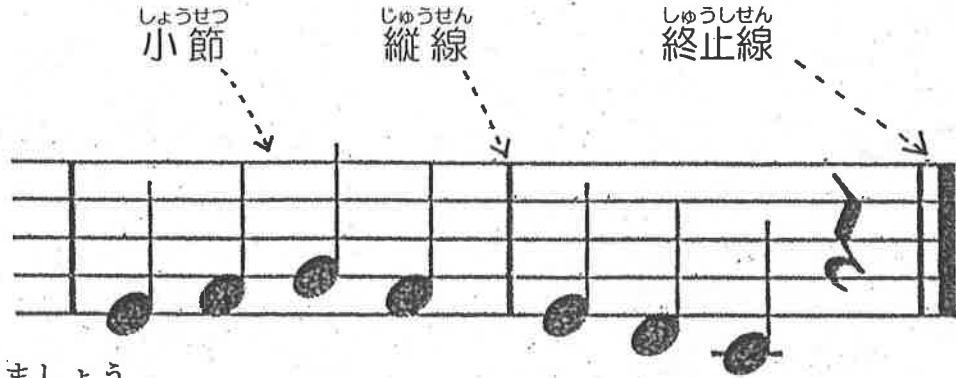
ウラがあります。

3、楽ふのやくそくを知りましょう。(9ページを見ながら書きましょう。)

①

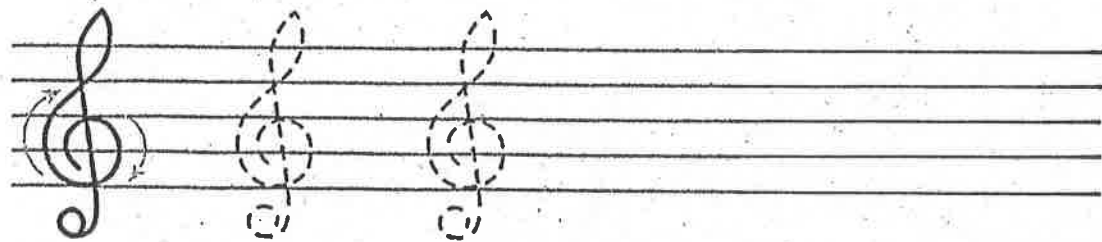


下のがくふの「小節」「縦線」「終止線」をゆびさしましょう。



② 書きましょう。

記号



4回目 月 日 ( )

めあて 音の高さを感じ取りながらえんそうしよう。

1、うたを きいたり、うたったり しましょう。

①「春の小川」(10, 11ページ)を階名で(ドレミで)歌いましょう。

ドレミ(階名)で歌えてきたら  
11ページのドレミのふうせんを  
ゆびさしながら歌ってみましょう。



③みんなで楽しく(72から77ページ)の中から「にじ」をうたって、「こころパレット」をききましょう。

2、「海風きって」をえんそうしましょう。

アは歌詞で歌い、イは けんばんハーモニカでふきましょう。

めあて リコーダーのひびきを かんじよう

1、リコーダーの音を ききましょう。

①23ページ「練習1」から27ページ「アチャパチャノチャ」までの11曲の中のさいしよの4曲(シの音のれんしゅう)をきいてみましょう。

③ リコーダーのプリント1を見ながら リコーダーを 持ってみましょう。  
できたところ は プrintの  の中に ○ をしましょう。

年 組 名前

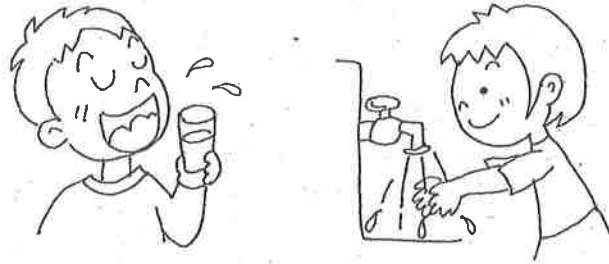
\*このプリントは 学校に来た時に 先生に出します。

# リコーダーをふこう 1

ひとつずつ たしかめながら すすめましょう。  
できたところは □ の中に ○ を書きましょう。

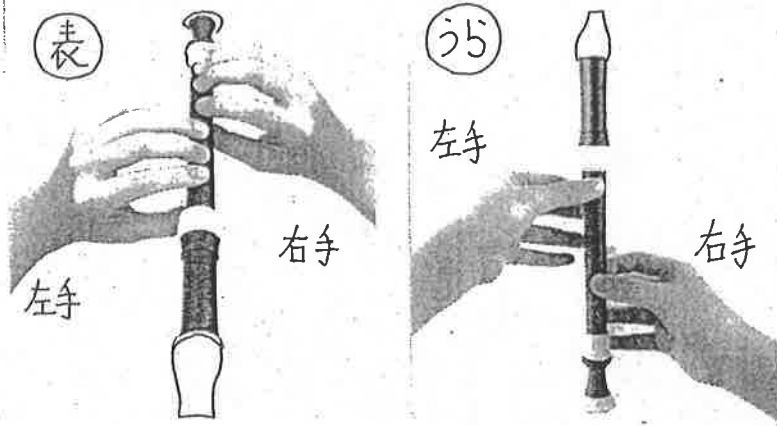
## 1 リコーダーをふくまえに

□の中や 手を きれいにしましょう。



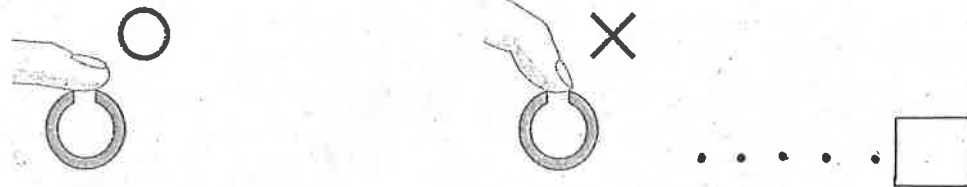
## 2 リコーダーの 持ち方

右きき、左ききのどちらでも  
左手を上に、  
右手を下にして  
持ちます。



## 3 あなたのふさぎ方

ゆび 指のはら のところで、すき間が できないように  
軽くふさぎます。(けんばんを ひくときのように 指を立てません)

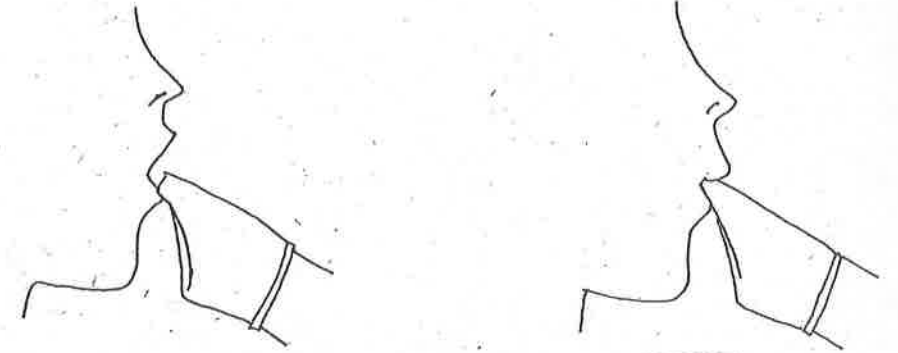


## 4 くちびるの当て方

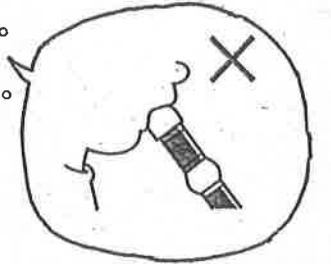
1 ふき口の 先<sup>くち</sup>ぶぶんを  
下くちびるに 軽くのせます。



2 上下のくちびるで  
軽くはさみます。



★これはだめ! . . . . . ふかく くわえる。  
は 歯があたる。かむ。



## 5 ふくときのしせい

立ってふくとき . . . □

すわってふくとき . . . □



※歌うときのしせいと同じように、かたはばくらしいに足を広げて立つ。

\* せすじをのばす。  
\* かたやうてに力を入れない。

これは いい音になりません。



● せすじをのばし、あさくすわる。  
\* リコーダーの先が机にあたらないよう、いすをうしろにさげる。  
\* 足をしっかりゆかにつける。



せを丸くして、指ばかり見ている。 トランペットのように上に上げる。 いすのせもたれにもたれる。 机にひじをつく。 机にリコーダーの先をおく。